

2016年
4月

原水協通信

日本原水爆禁止協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話(03)5842-6031

FAX(03) 5842-6033

2016年4月6日(水) 原水協通信(大阪版) 第866号

原水爆禁止大阪府協議会 大阪市谷町7-3-4新谷町ビル210号 Tel06-6765-2552 Fax06-6765-2837

戦争法廃止へ ひろげよう署名を！



3月度の六・九行動には、大阪原水協、大阪平和委員会、天王寺平和委員などから10名が参加して、上本町6丁目で実施。短時間に53筆の署名が寄せられました。

高齢者、サラリーマンなど様々な人が署名に応じていただき「ご苦労さま」「頑張ってください」などの激励をうけて、この署名運動が多くの府民に支持されていることを実感しました。

また平和友好団体連絡会が、全国統一行動の一環として、3月19日天王寺駅北口で雨の中を署名・宣伝行動

に取り組み、8名が参加、30筆の署名が寄せられました。

19日は四天王寺のお大師さんの日でもあり想像を超える通行人で参加者が多ければ署名も比例して多数集められたのではと反省しています。各自で個人目標も設定して、つながりで、街頭で、個別訪問で署名を飛躍させましょう。

参議院選挙にむけた5野党合意を具体化し、勝利するためには私たち一人ひとりの運動と世論の盛り上がり不可欠です。

不当なピースおおさか

原水協との懇談すら拒否

大阪原水協岩田理事長は、3月度の常任理事会で確認された「ピースおおさかの展示と運営に関する要望書」を持参し、3月17日にピースおおさかの事務局長と面談しました。理事長に対して「ピースおおさか」をより良いものにするために、原水協の9項目の要望を真

摯に検討していただき、意見交換をおこなうように求めました。しかし当局は、「要望書」は受け取ったものの、「原水協も加わっている実行委員会と話し合っており、個別の団体とは会わないことにしている」と会談を拒否。岩田理事長は、「原水協の要望書には、大阪にいる6千人近い被爆者のことに対する解説や展示を要望していることなど、独自の要望や見解も含まれており、我々はピースの発展を願っている。多様な意見に耳を傾けることこそが行政の重要な仕事だ」と再考を求めましたが平行線に終始しました。改めて、平和団体との会談すら拒否するピースの側の頑なな態度に失望と怒りを強くしました。

大阪原水協は、「ピースおおさかに府民・市民の声を」実行委員会に結集して、改善を迫るとともに、原水協独自の取り組みを強めます。

<当面の主な日程>

- ☆4月14日(木)午前10時半～大阪原水協4月度常任理事会
- ☆4月21日(木)11時～ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟裁判(地裁202号法廷)
- ☆5月3日(祝)午後1時半～「憲法壊すな！戦争法廃止！大阪総がかり集会」(扇町公園)
- ☆5月6日(金)正午～6・9行動(上本町6丁目近鉄前)
- ☆5月8日(日)大阪平和委員会総会・60周年記念レセプション(たかつG)
- ☆5月10日(火)午前11時～ノーモア・ヒバクシャ近畿訴訟裁判(地裁806号法廷)
- ☆5月12日(木)午前10時半～大阪原水協5月度常任理事会
- ☆5月18日(水)午後6時半～原発ゼロ・大阪の会総会(国労会館)

5月21日(土)午後1時30分～大阪原水協総会(社会福祉指導C)

ヒバクシャが新たな国際

署名を呼びかけ

このほど日本被団協(日本原爆被害者団体協議会)は、世界にむけて数億の署名を集めることを提案しました。「被爆者は、核兵器のない世界の実現を一日も早く望んでいる」として、署名項目は「核兵器全面禁止の条約をむすぶこと」の一点で、毎年の国連総会に提出するとしています。日本原水協は、この呼びかけを大歓迎し、積極的に取り組みます。具体的な対応については、4月21～22日の全国理事会で議論するとしています。

戦争法廃止署名をやりぬき、その力で新たな署名運動に挑戦しましょう。

